

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3871500025		
法人名	有限会社やわらぎ		
事業所名	グループホームやわらぎ川内		
所在地	東温市南方1787-2		(電話) 089-966-6413
管理者	高場 淳也		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年7月25日	評価確定日	平成20年9月20日

【情報提供票より】 (平成20年6月27日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	9人, 非常勤 6人, 常勤換算 14.2人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年6月27日現在)			
利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	2 名	要介護2	8 名
要介護3	7 名	要介護4	0 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.1 歳	最低 59 歳	最高 99 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> ●入居前に、職員は、ご本人を訪問し、できる限り同じような環境を整えられるよう支援されている。 ●病院の受診・敬老会への送迎や、自宅に様子を見に戻られたり、温泉を楽しみに出かける等、一人ひとりの希望に合わせて支援されている。 ●調査訪問時、お一人でお出かけようとしている利用者の方に、職員は「気を付けてね」と声をかけ、見守っておられた。 ●食材の買出しに利用者とともに行かれ、利用者が食材選びをして下さる。又、調査訪問時「これはここで取れた野菜だから新鮮でおいしいよ」とお話しされながら、食事を楽しんでおられる様子がうかがえた。
--

【質向上への取組状況】

<p>▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この一年間、特に、利用者の思いの把握に力を入れて取り組まれた。
<p>▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての職員で自己評価に取り組まれた。職員は、自己評価作成時に「言葉かけ一つが利用者の方の尊厳を損ねていないかと考えるようになった」と話されていた。
<p>▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回会議を開催し、事業所の活動報告をされている。又、地域の方より地域行事の情報を得たり、公民館のサロンにもお誘いいただいた。会議には利用者も出席し、ホームでの暮らしについて発言をされている。
<p>▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のご家族の来訪時、ご本人の暮らしぶりや健康状態について報告をされている。又、遠方にお住まいのご家族には、手紙や電話で伝えておられる。金銭管理については、支出のあった時に伝えるようにされている。
<p>▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏祭りや事業所主催の夏祭り会に近隣の方々を招き、交流されている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

やわらぎ川内

(ユニット名)

ぽっかぽかの家

記入者(管理者)

氏名

山内 一明

評価完了日

平成 20 年 7 月 11 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念をフロアに提示して取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			法人の理念に「自己実現・自己決定・個性と尊厳の尊重」を掲げて、事業所の実践目標として「まあいい笑顔」を掲げておられる。		さらに、貴事業所が地域の中でどのようなことを目指して取り組んでいくのか、ということについてもこの機会に話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			取り組もうとしているが、日々の業務に追われ実践出来ていない時もある。		
			(外部評価)		
			職員それぞれが、理念について考えておられる。		今後は、スタッフ会議やミーティング時等、職員が集まる機会に職員で理念について話し合い、実践に向けて取り組んでいきたいと考えておられた。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族の方々には理解して頂いている。地域の方々とは散歩の時に話をして交流が出来る様に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 収穫した野菜や果物を頂いたり、散歩時に挨拶して話をしたりしている。		夏祭りを行い、地域の方々との交流を深めている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会、老人会の誘いはあるが、あまり参加出来ない。 (外部評価) 地域の夏祭りや事業所主催の夏祭り会に近隣の方々を招き、交流されている。		地域活動、行事等にもっと参加したいと思う。 さらに、事業所では、今後も地域との交流の機会を増やしたいと考えておられる。地域の情報を知る取り組みや発信する取り組み等、工夫を重ね、地域との関係を深めていかれてほしい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 話し合いを行う機会がなかなか持てず不十分だと思う。		学生のボランティアや地元中学生の職場体験学習を受け入れている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自分自身を振り返る事で今後につなげていける様に改善に取り組んでいる。 (外部評価) すべての職員で自己評価に取り組まれた。職員は、自己評価作成時に「言葉かけ一つが利用者の方の尊厳を損ねていないか考えるようになった」と話されていた。この一年間、特に、利用者の思いの把握に力を入れて取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2カ月に一回、家族、利用者、地域包括の各代表の方々に集まって頂いて活動内容を報告し意見や感想ももらっている。		会議の内容が全スタッフにまで届いていないので随時報告をしていく。
			(外部評価)		
			2ヶ月に1回会議を開催し、事業所の活動報告をされている。又、地域の方より地域行事の情報を得たり、公民館のサロンにもお誘いいただいた。会議には利用者も出席し、ホームでの暮らしについて発言をされている。		いろいろな方からご意見をいただけるよう会議をすすめられたり、会議の内容等についてもご家族に報告されてはどうだろうか。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			ケア会議へ参加し他の事業所の方々と関わりを持っている。		
			(外部評価)		
			市の担当者の方と利用者の生活支援について相談することもある。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			勉強会に参加する様に心掛けているが、スタッフに浸透していない。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止に全員で努めているが、研修会にはなかなか参加出来ていない。		積極的に研修会に参加していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		(自己評価) 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約は管理者が行っているのであまり理解していない。見学に来られた時には説明している。		
13		(自己評価) 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議で利用者代表の方に意見を頂く様に機会を設けたり、介護相談員の方が来られ話を聞いて頂いている。		
14	7	(自己評価) 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や手紙を郵送して伝えている。		変わった事等があれば、随時電話での報告もしていきたい。 金銭のことについては、ご家族も気になることでもあり、又、聞きにくいことでもあり、詳細で定期的な報告が期待される。
15	8	(自己評価) 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議で意見を頂いたり、面会時に気づいた事を受け入れる様にしていきたい。		(外部評価) ご家族の来訪時や運営推進会議時、意見や要望をうかがうようにされている。 来訪の少ないご家族からも、ご意見等をうかがえるような機会を作ってはどうだろうか。又、ご家族同士で話し合うような機会作り等、意見が出やすいような雰囲気作りについて、工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のスタッフ会議で職員全員の意見や提案を聴いていける様に一人一人に問いかけている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 基本の3人体制は出来ており、希望日を取り入れた勤務調整もされている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者の方から不安があると聞いた事があるが、やむを得ない場合のみ異動を行っている。		
			(外部評価) 利用者、職員ともユニット間で行き来されており、顔馴染みとなっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の日時を示した資料を回覧板でスタッフに把握してもらい、希望があれば参加している。		
			(外部評価) 職員は、ご自身が必要と感じる外部研修を受講されている。最近では「床ずれのケア」について学ばれた。受講された研修内容は、ミーティングで周知されている。		職員の段階に応じた研修を受講できるような体制作りが期待される。職員個々のさらなるレベルアップからも、事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			介護ネットで他の事業所との連携を図っている。		
			(外部評価)		
			管理者は、「介護ネットワーク」で地域の同業者と情報交換や交流をされている。		さらに、ネットワークを広げ、職員、利用者も交流できるような機会等も作ってはどうか。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員の間では、ある程度出来ているようだ。		休憩時間がないので工夫していきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			スタッフ会議で活動内容や目標を発表する際に、評価したり不十分である場合には助言を受けている。		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			今以上に利用者の方々の話を聴き本音を引き出せる様に、受け止めていく様に努めたい。		1対1で話をゆっくり聴ける様に時間にとられない過ごし方を増やしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている	(自己評価) 面会時等によく話をして、不安等を解消していく様に努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族の意向に合わせてケアプランを作成し、目標を実行出来る様に努めている。		自主的に学習し少しでもよりよい支援、助言を行いたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族がどの様な生活をしたいのか、してきたのかをまず把握して家に居た時と同じ様な生活を送れる様にサポートしている。また不安を取り除き、安心感を持って頂ける様に努めている。 (外部評価) 入居前に、職員は、ご本人を訪問し、できる限り同じような環境を整えられるよう支援されている。入居間もない頃は、職員がご本人と一緒に過ごすようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者と一緒に生活を送って出来ない事は教えて頂いて学んだり、支えたりする事でお互いを知る事が出来ている。 (外部評価) 職員は、利用者に教わりながら、お茶の新芽からお茶作りをされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 全ての家族との関係を築きたいと思っているが面会が少ないとなかなか築けていない。面会に来られる家族とは上手く出来ている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) いろいろな事情があり、本人が帰りたい気持ちになる事があるが、気分転換を図る為に行事、家事手伝い、外出をして気分が紛れる様にしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 生まれ故郷や懐かしい場所へ行ったり、昔働いていた友人との面会がある。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 耳が遠い方との会話やお互いの会話かみ合っていない場面では、職員が間に入りつなぎ役として関わっている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 現在は行えていないが関係を断ち切らない姿勢を持って望みたい。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)			
		本人の意思で行動されていると共に家族の意向を取り入れた対応もしている。			時間をみて少しずつ会話を増やしたい。
		(外部評価)			
		入浴のゆったりとした時間に利用者がお話をされたことや、生活の中でのご本人の言葉をそのままメモされ、職員間で思いの把握に努めておられる。			
34		(自己評価)			
	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、ケアマネジャーから話を聴く、又はケース記録を見て情報を把握している。			もっと詳しく把握出来る様に話を聴きたい。
35		(自己評価)			
	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録や職員同士の連絡、様観等を行い把握に努めている。			
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)			
		本人様と話し合って要望を引き出したたり、家族にもケアプランを見て頂いて作成をしている。			
		(外部評価)			
		日頃の会話からご本人の希望を聞き取り、ご家族の意見、職員の気付き等を探り入れ、介護計画を作成されている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			状態に変化があった時はプランの追加や変更をしている。		
			(外部評価)		
			毎月、モニタリングを行い、又、状態の変化時には随時見直しされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			記録、連絡ノート以外にも日頃の感想を記入するノートがある。スタッフ間だけの大切なノートだが利用者に対する思いを書き見直しに活かしている。		行った事、思った事ばかりではなく、その時その時の利用者さんの言葉や行動がもっと欲しい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			畑で野菜を作ったり、希望による外出、買い物等をしている。		
			(外部評価)		
			病院の受診・敬老会への送迎や、自宅に様子を見にいられたり、温泉を楽しみに出かける等、一人ひとりの希望に合わせて支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 現在は年に1回消防訓練を実施している。呼びかけして専門学校の方に夏祭りのボランティアに来て頂いている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人は話し合っていないと思う。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 介護相談員の派遣あり。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけの内科医に定期的な往診をして頂いている。		
			(外部評価) 病院受診時には職員が付き添うこともあり、病院との連携を図っておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の受診はしていない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) スタッフの中に看護師がおり、相談しながら支援している。異常時は医師に連絡して対応している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した時には面会に行き状態の把握に努めている。治療が終われば退院を勧めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した時には、家族と医師と話す機会を設けている。 (外部評価) 「看取りの指針」に沿って、事業所でできる支援について、利用者・ご家族に説明されている。		さらに、終末期の支援については、ご家族や医療機関とも密に連携を図り、話し合いを重ねていかれたい。又、職員も一丸となって取り組めるような体制を整えていかれることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族にホームで出来る範囲を伝え納得してもらえる様になっている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 大きな変化が生じない様に情報を多く収集している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>感情的な対応をしてしまう事があるが気持ちを切り替えて冷静な対応を心掛けている。プライバシーは守れている。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>職員は、トイレへの誘導・介助時、周りの方にも配慮して耳元で声をかけ、支援されている。又、職員が利用者の個人的な話をする時は、居室で行うようにされている。</p>			
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護者側の決定が先になりがちだが利用者の自己決定権を優先しようと努力している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員側の決まりや都合になる時もあるが一人一人の意志を大切に受け入れて行く様に努めている。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、お一人で出かけようとされている利用者の方に、職員は「気を付けてね」と声をかけ、見守っておられた。</p>			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 行きつけの理・美容店へ行っている方もおれば来所した際に家族さんに切ってもら方もいる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 嗜好に合わせた料理を提供したり、一緒に作ったりしている。食器を洗ったり拭いたりされる利用者がおられる。 (外部評価) 食材の買出しに利用者とともに行かれ、利用者が食材選びをして下さる。又、調査訪問時「これはここで取れた野菜だから新鮮でおいしいよ」とお話しされながら、食事を楽しんでおられる様子がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 行事、外食時にはお酒を飲まれる方がいる。希望される方には好みのものを提供している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を見てパターンを把握し、トイレでの排泄が出来る様にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			職員の都合で決めてしまう事もあるが、希望や拒否がある場合は出来るだけ受け止めていく様にしている。		
			(外部評価)		
			昼食後から午後7時30分頃までを入浴の時間とされている。その間のお好きな時に入浴を支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中は活動的に過ごして頂き、適度な運動を行っている。昼寝をされたり夜もぐっすり眠られていると思われる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			庭の花を育てている方がおられる。景色を観に行ったり外食して気分転換を図っている。		
			(外部評価)		
			ホームの菜園で草引きや野菜作りをされている方や、草花を育てる方、庭木の剪定をされる方もおられる。手編みで帽子やベストを編み、職員にプレゼントして下さることもある。高校野球の組み合わせ表を書き込みながら、優勝戦をTV観戦されている方もうかがえた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			本人が所持されている方がおり、希望されて買い物したり職員に頼んだりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			希望に沿うように外出している。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、職員に見送られ手押し車を押して、一人で出かけられる利用者にお会いした。朝夕の散歩や、法人の他グループホームにある喫茶室にコーヒーを飲みに出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族と共に外出している方もいる。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望があれば自宅へ電話している。手紙が来ても返信出来る方がいない。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			気軽に訪問され居室やフロアで話をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は居室や玄関は鍵を開けている。夜間は玄関や勝手口は閉めている。 (外部評価) 日中玄関には鍵をかけていない。自由に出入りする利用者の様子がうかがえた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 危険を予測して付き添う等して安全に生活を送れる様に努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬は保管している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 転倒を防止する為すぐ側で支えられる様にしている。食べ物は大きくて固いものを避けている。避難訓練を実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時の対応マニュアルがある。定期的な訓練は行っていない。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練はしているが、地域の人々の協力を得られる様な働きはしていない。 (外部評価) 消防署の方の指導の下、昼間・夜間を想定して避難訓練、通報訓練、初期消火の訓練を実施された。足の弱い利用者の安全な避難のために、布団の上に乗せて布団ごと引っ張る方法を教わった。		さらに、地域と相互に協力し合えるような体制作りをすすめていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 居室内の個人の空間は24時間は監視できない事を家族に説明している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 異変があれば、かかりつけ医に連絡し指示を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人ファイルで処方された薬の用法や用量等が記載された用紙を確認している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 乳製品や繊維性食品を多く摂るようにしたり適度な運動を働きかけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後は出来ていないが夕食後は口腔ケアが出来ている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 炭水化物、たんぱく質、繊維性食品等バランスや量は一人一人に合わせている。		
			(外部評価) 季節の野菜を多く採り入れ、食事作りをされている。水分補給は、3回の食事時・おやつ・入浴後・寝る前等に声掛けされている。随時給水できるようカウンターの上にポットを置いて、自由に飲めるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザの予防接種をしている。使用しているタオルはこまめに交換している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>フキン、まな板等は毎日ハイターや熱湯消毒をしている。台所のタオルも交換している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食卓に花を生けたものを置いたり、庭やテラスには色々な花を植えて明るい雰囲気を出入りができている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>トイレは朝掃除して汚れたらその都度清潔にしている。換気も出来ている。</p>		<p>1 か所換気が出来にくいトイレがある。設備を整えたい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>テレビを見るスペースや読書ができるスペースがあり、思い思いのところで過ごせるようになっている。</p>		<p>さらに、心地よい環境作りの一つとして、共用空間で行われている職員の業務について利用者、ご家族からどのように見えるか話し合ってみてはどうだろうか。忙しそうで話しかけにくい様子はないだろうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居室で過ごされたり、フロアのソファークラフトで過ごされている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人が使用されていた布団、タンス、衣類等を持ってこられている。		
			(外部評価)		
			使い慣れたテレビやタンス・洋服掛け・ご家族の写真・位牌等、馴染みのものを持ち込んでいる居室もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温湿計があり、こまめに確認して換気にも努めている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			フロア、トイレ、浴室に手すりがある。玄関等には段差があるが見守りに対応している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			出来る事は見守りして、出来ない事は支援している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			テラスでベンチに座って日なたぼっこをしたり庭で花を育てている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者との関係作りには力を入れているが、本人が満足したものにつながっていない時もある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後やフロアの所で座って話が聴けている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日中は声かけが多い。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	話を聴く事で笑顔が多く見られている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時間やスタッフの状態によって出来ない所もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	Drと連携しているので安心して過ごせているのではないかと思います。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々に対応で安心した生活をして頂けていると思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	よく相談をして下さっている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族、知人、友人の方がよく来られている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	2カ月に1回、包括、家族、地域の代表の方々と話し合いが出来ている。
98	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生き活きと働けているので本音で話し合っってストレスを溜めない様にしたい。
99	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家庭での生活を望まれている分、それに見合うケアはまだまだ遠いと思う。
100	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族さんの意見全ては聞けていない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・年に1回夏祭りを実施
 ・おやつ等を努めて手作りにしている。